「別記(一)」

争議日報

第六號　五月十二日發行
東京交通労働組合本部

政治的要求を掲げて
全力を集中せよ！

我々の給与業の決行と其の解決について市長当局者並に労働組合の代表者の間に行われた交渉の経過は市長助役両長等の解決に対する尖鋭なる意見の為に決裂したのである。だからこの市長助役両長の意見の背後には政府当局者の一般労働者に対する態度と云うものが大きな力となって現われているのである。

そこで我々の争議は単に我々の生活権の問題だけでなくて我々の争議が政治的意義を有する事になるのである。

我々の争議が勝利の為めにも又我々の生活権を擁護する為めにも我々の争議は政治的意義を有するものであるから我々は我々の力を集中して我々の争議を勝利に導かなければならない。

今日市当局の一部及び市助役に等しき市当局者の棄利運動がある事は我々の争議を有利に導く為めに好都合であることを確信する。

従って我々の争議に於ける市長諮問委員の決定と後任市長決定までは我々の決行を延期する事にするが市助役その他の問題の解決の為めには断乎として我々の主張を貫徹しなければならない。

我々の争議の決定と同時に我々の要求は次の如くである。